

琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会（第8回） 議事概要

- | |
|--|
| 1 開催日時： 令和6年3月28日(木) 10:00～11:40 |
| 2 開催形式： web 会議 |
| 3 出席者： 多々納 裕一委員（座長）、石田 裕子委員（副座長）、中村 正久委員 |
| 4 議 事： (1) 水源保全連絡会議の取組について
(2) プラスチック対策検討会の取組について |

(1) 水源保全連絡会議の取組について

- シチズンサイエンス（市民参加型の科学研究）として、府県市民から森林の土壌サンプルを提供してもらい、流域全体の森林整備の効果を解析してはどうか。
- 大阪・関西万博の会場でマップ等を展示する際には、水源保全のバックボーンとなるような基本的な行政制度や、下水や上水など水質の問題も含めた全体のシステムの話があるとよく分かると思う。

(2) プラスチック対策検討会の取組について

- この30年間で、琵琶湖・淀川水系における非特定汚染源対策の研究成果が蓄積されてきた。非特定汚染源対策の研究分野においては、概念構築や施策への落とし込みが行われてきており、プラスチックごみ問題と関連があるので、参考になると思う。
- 研究成果は出ているように見えるが、施策にどうつながるかが分かりにくい。施策につながるような実験的な取組（例えば万博会場でのペットボトルのデポジットの実施等）を行ってはどうか。
- 今後も市民や関係自治体と協力して、データ収集を継続してもらいたい。また、プラスチックごみの削減に資する施策を実施した地域と実施していない地域で、データを比較・分析してはどうか。
- ごみ対策といった観点に加え、生態系への長期的影響といった点で、マイクロプラスチック問題は重要である。関西広域連合のセミナー等で市民に分かりやすく情報発信してはどうか。